

〔 第2回尾張スプリント 競技注意事項 〕

- 1 本大会は2026年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会競技要項によって行う。本大会は、日本陸上競技連盟公認競技会として実施するが、ワールドアスレティックス（WA）のワールドランキングコンペティション（WRK対象競技会）としては実施しない。そのため、競技会で出された記録は国内の公認記録として認められるが、WAワールドランキングや国際大会（オリンピック・世界選手権など）の参加資格など、WA記録集計の対象とはならない。
- 2 スタートは国内ルールを適用する。
- 3 競技場への入退場について
 - ・観戦・応援については正面スタンドおよび芝生スタンドのみ可とする。
- 4 アスリートビブスについて
 - ・競技者は必ずアスリートビブス（規定のもの）を胸・背部に確実につける。
- 5 招集について
 - ・競技時間表記載の招集時間に招集所（スタンド下競技者係室前）にて招集を受ける。
 - ・招集完了時刻に遅れた競技者は欠場するものとして処理する。
 - ・腰ナンバー標識は使用しない。
 - ・招集完了後は、スタート時間10分前にスタート地点に集合し、最終コールを受ける。
- 6 競技場所への移動と解散について
 - (1)最終コールを受けていない選手は競技に参加できない。
 - (2)スタート練習は、スタート地点集合以降、役員の指示に従って行うこと。
- 7 走路順・試技順について
 - (1)トラック競技の走路は、プログラム記載の番号順とする。第2レースは第1レースの記録により組合せをおこなう。なお、第1レースが失格により記録がない場合は「記録なし」として組み合わせる。
 - (2)欠場者のレーンは空ける。
 - (3)第1レースを欠場した競技者は第2レースに出場することができない。
- 8 競技について
 - (1)フィニッシュした後も他の競技者の安全のために、自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走るものとする。
- 9 スパイクピンの長さは8mm以下とする。
- 10 氏名等がプログラムの印刷と異なる場合は、早めに本部の庶務担当に申し出て訂正してもらうこと。
- 11 抗議については、記録が発表された時間を基準とし30分以内(第1レースについては15分以内)に本部(総務員)に口頭で申し出る。
- 12 競技中に生じた事故については、応急処置はするが以後の責任は負わない。
- 13 陸上競技場の使用について
 - (1) 清掃・ゴミ処理は、各団体・学校・各自で責任をもって行い環境美化に努める。

ゴミ問題は、深刻な状況です。各自「ゴミの持ち帰り」をお願いします。現在、競技会終了後の「清掃・ゴミ処理」は、一部の学校の生徒の奉仕活動により行われていますが、その労力は多大なものとなっています。他人に迷惑にならないよう互いに気を配り、自宅への持ち帰りにご協力ください。
 - (2) 各団体の控え場所は、スタンド・国旗掲揚塔を除くトラック外周を使用可とする。

14 ウォーミングアップについて

- (1) 競技開始前のホームストレートにおけるウォーミングアップは競技開始15分前までとする。ウォーミングアップ時のジョギングに関してはトラックの内側で競技会準備の支障にならないように行うこととする。集団でのジョギングは禁止する。ホームストレートと第4コーナー出口付近では接触の危険性が非常に高いので、係の指示に従うこと。
- (2) 競技中のトラック使用のウォーミングアップは下記の条件付きで認める。
 - ① 場 所：第1曲走路の中間地点から第2曲走路の中間地点手前。
 - ② ウォーミングアップ、レーンを使用した疾走は競技で使用していない5～8レーンにて行うこと。また、バックストレートの1～4レーンは常時、スターティングブロックを使用したスタート練習を逆走で使用する。スタート練習については、この指定された場所のみで行うこと。

15 その他

- ・記録の発表は上位競技者のみ放送にて行う。記録の掲示は行わないが、速報サイトに期間限定で掲載する。なお、後日、リザルトを愛知陸上競技協会HPに掲載する。
- ・第2レースのスタートリストは速報サイトで発表するとともに、招集所へ掲示する。
- ・応援はメインスタンドで行うこと。援にあたっては競技進行を妨げないようにすること。
- ・その他、競技役員の指示があった場合はその指示に従う。
- ・暑熱対策のため管理棟1階会議室をクーリングルームとして利用ができる。ただし、チームベンチとしては利用ができない（荷物を置きっぱなしにしない）。

◆選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください◆

監督・コーチ・顧問以外の写真またはビデオ撮影について

※保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。

※撮影を許可するエリアは、スタンドのみとします。禁止された区域では撮影はできません。その他にも、以下の場合の撮影を禁止します。

- ・選手がスターティングブロックの足あわせをしたり、試技を待っていたりしている間や、身体を動かしたりしているなどの準備を行っているとき。

※また他者に著しく迷惑をかける行為として主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡します。

